



# 輝き 「夢 輝く自分」

令和5年10月2日

朝夕がめっきり涼しくなり、秋らしくなってきました。

子どもたちは10月15日の運動会に向けて、練習の真ただ中です。運動場で自分の場所を覚えたり、隊形移動の練習をしたりしている低学年。動きの速いダンスをリズムに乗って楽しそうに練習している中学年。一人技、二人技、そして六人技など、仲間と息を合わせてバランスをとりながら技の完成度を高めていっている高学年。練習を積み重ねることで、日に日にできるようになっていっている子どもたちの顔はとても輝いています。この経験を通して、粘り強く取り組むことの大切さ、みんなで力を合わせることの楽しさを味わってほしいと思っています。

## 参観・懇談 ありがとうございます 9月13日



今年度3回目の参観日がありました。昨年度までは感染症対策のために前半と後半に分けての参観でしたが、今年度からは45分間お子様の様子をしっかりと参観していただくことができたのではないかと思います。国語、社会、算数、理科などいろいろな教科で参観授業が行われていました。手を挙げて発表したり、グループで話し合ったりするなどの活動の様子をご覧いただき、日ごろの学校での子どもたちの様子の一端を知っていただくことができました。暑い中にも関わらずたくさんの方の保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

## 2年生が校外学習に行きました 9月29日

各学年のトップを切って2年生が校外学習に行ってきました。朝登校してきた時から、どの児童も「楽しみで楽しみでしょうがない」感じが全身からあふれていました。行先は岡山県立図書館とこどもの森です。岡山県立図書館は来館者数が日本で一番多いことで知られています。図書館の秘密やそこで働く方たちの工夫などについて自分の目で見たり、お話を聞いたりして勉強しました。とても立派な態度で見学をすることができたそうです。弁当や持ち物の準備をしていただきありがとうございました。



10月には他の学年も校外学習を予定しています。保護者の皆様にはお世話になります。よろしくお願ひします。

## 栄養教諭の西中先生による食育

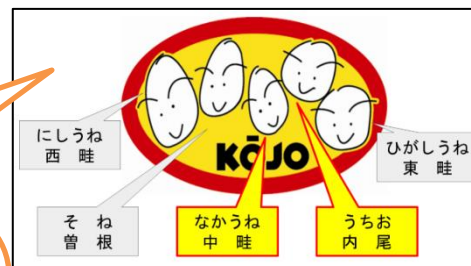


学校の教育活動は様々な方の支えで成り立っています。興除給食センターの栄養教諭の西中先生はそのお一人です。西中先生は毎日の給食の献立を考えるだけでなく、小学校の子どもたちに食育の授業もしてくださっています。9月には5年生に魚の栄養や良さについて授業をしてくださいました。ピーカーに入っている魚の脂と肉の脂を体温くらいの温度にすると、肉の方は固まってしまうましたが、魚の方は液体のままです。この実験には子どもたちも驚いていました。魚ももっと食べていきたいという思いをもったようでした。

## 興除小学校 150周年記念マークが決まりました



昨年度、運営委員会の児童が中心になって150周年のマスコットキャラクターを作ろうと呼び掛けて、全校児童にアイデアを募集しました。すると、1年生から6年生まで160点以上の作品が集まりました。その中から、興除地区で30年以上使われ、みんなが慣れ親しんでいる「興除マーク」をいかしたデザインが児童の投票によって選ばれました。地域の方にも相談して原案を少し修正して、興除小150周年記念マークを左のようにさせていただきました。



みんながいつも見ている興除マークは、今から30年ほど前に地域のみんなで興除の地域を盛り上げていくために作られたそうです。西蛙、曾根、中蛙、内尾、東蛙の人たちの仲の良いことを笑顔で表現しています。顔の形は興除の農産物の米や麦、大豆やナスにも見えます。力を合わせてみんなが笑顔になるような興除地区にしていこうという願いが込められているそうです。

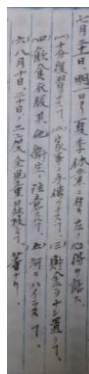
興除小学校の学区はこの5つの地区のうちの中蛙と内尾です。中蛙と内尾を表している子たちが仲良く手をつないで横断幕を持ち、150年の歴史と伝統を引き継いで、先輩方に負けないように自分たちもよりよい学校を創っていこうという思いを表しています。

テレビ朝会で児童にこのマークになったいきさつを話し、これから行われる記念運動会や記念式典、記念音楽発表会などで使っていくとともに、みんなで150周年をお祝いしていこうと話しました。学校全体が150周年記念行事に向けて盛り上がってきています。

## 興除小学校 150周年 特集記事① <明治時代の終業式>

どこの学校にも耐火書庫で厳重に保管されている物の一つに学校沿革史があります。永年保存の文書です。興除小学校にも明治から令和に至るまでの5つの時代の学校の様子を記した沿革史が保管されています。

明治時代にも夏休みがあり、終業式では校長先生から話があったと書かれています。復習をすること、家の手伝いをすること、健康に気を付けること、川に入らないようにすることなどの話をされたそうです。この文章を読んだときに思わず微笑んでしまいました。子どもたちを思う教師の思いは昔も今も変わらないことをしみじみと感じ、150年の歴史を感じました。



明治の終わり頃の先生と子どもたち  
後ろには校門と校舎が見えます

<学校沿革史より (明治四十二年七月三十一日の記述)>

- (一) 十分復習ヲナスコト (二) 家事ノ手伝ヲナスコト (三) 貯金ヲナシ置クコト  
(四) 飲食衣服其他衛生ニ注意スルコト (五) 河ニハイラヌコト

## 毎月第2火曜日はあいさつの日

いつも朝早くから登校の見守りをしてくださってありがとうございます。学校では子どもたちに地域の方々にも元気よくあいさつをするように指導しています。気持ちのよいあいさつが広がるように学校も指導を続けていきますので、保護者の皆様、地域の皆様も子どもたちのお手本になってくださると嬉しいです。

今月は10月10日(火)です。  
さわやかなあいさつを!!